

No4290691

事務事業票

所管部長等名建設部長 松本 浩二

所管課・係名下水道建設課 計画係

課長名福田 新士

評価対象年度平成29年度(2017)

1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	雨水ポンプ場施設整備事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	7	—	5	—	3
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるまち	事業コード(大-中-小)	3	—	15	—	03
	施策の大綱(節)【政策】	1	うるおいのある快適なまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	5	下水道の充実		施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防除		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	日奈久浜町ポンプ場(日奈久浜町)、徳淵ポンプ場(本町4丁目)における増設及び改築工事を行うもの。								
実施手法 (該当欄を選択)	☐ 全部直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ その他()								
補助金事業該当	☐ 補助金(主な補助先:)※予算の全てが補助金支出である場合に記入。								
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水路(第二十六条～第三十一条)								
事業期間	開始年度		終了年度		法令による実施義務 (該当欄を選択)	☒ 1 義務である ☐ 2 義務ではない			
	合併前		未定						

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対 象 (誰・何を)	日奈久浜町ポンプ場									
事業内容(手段、方法等)				成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
調査診断を経て作成した施設の長寿命化計画(改築・更新計画)に基づき、施設の改築更新を行う。 (改築概要) 事業期間:平成26年度～平成29年度、 総事業費:300,100千円 日奈久浜町ポンプ場改築(電気設備)工事その2(H28～H29) (事業費165,240千円のうち平成29年度分) 76,140千円 日奈久浜町ポンプ場改築(耐震補強)工事 8,970千円 (平成28年度繰越) 等				大雨時の浸水被害を軽減し、処理区域住民の生命財産を守る。						
コスト推移				27年度決算	28年度決算	29年度決算 見込	30年度予算	2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込
事業費(直接経費) (単位:千円)				78,101	90,469	85,552				1,500
財 源 内 訳	国県支出金			31,219	35,640	34,044				
	地方債			42,100	48,100	45,900				
	その他特定財源(特別会計→繰入金)									
	一般財源(特別会計→事業収入)			4,782	6,729	5,608				1,500

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	日奈久浜町ポンプ場の長寿命化計画策定から改築更新までの事業進捗率		計画	-	4.6	20.2	60.5	80.3	100
				実績	2	4.6	20.2	60.5	80.3	100
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合									
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①			計画	-					
				実績						
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合									
	施設の機能を維持管理するための事業であること、また浸水被害は降雨の状況に左右されるが、降雨は不測であることから、成果指標は数値化できない。									

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	八代市総合計画に明記しており上位政策・施策に結びついている。 突発的な豪雨が増えるなか、その役割はますます高まっている。 また、市が事業主体であることは、下水道法に明記しており、妥当である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検整備を実施し、順調に稼働していることから、成果目標の達成は順調である。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	施設改築事業の実施にあたり、一般競争入札にて行い、コスト削減をおこなっている。 雨水事業については、公費負担であるため、受益者や原因者負担はない。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 大雨等による浸水を軽減するために雨水ポンプ場を適切に稼働させ、市民の生命と財産を守ることが行政の使命であるため。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)	